

データのバックアップ

らくらく会計の共通説明

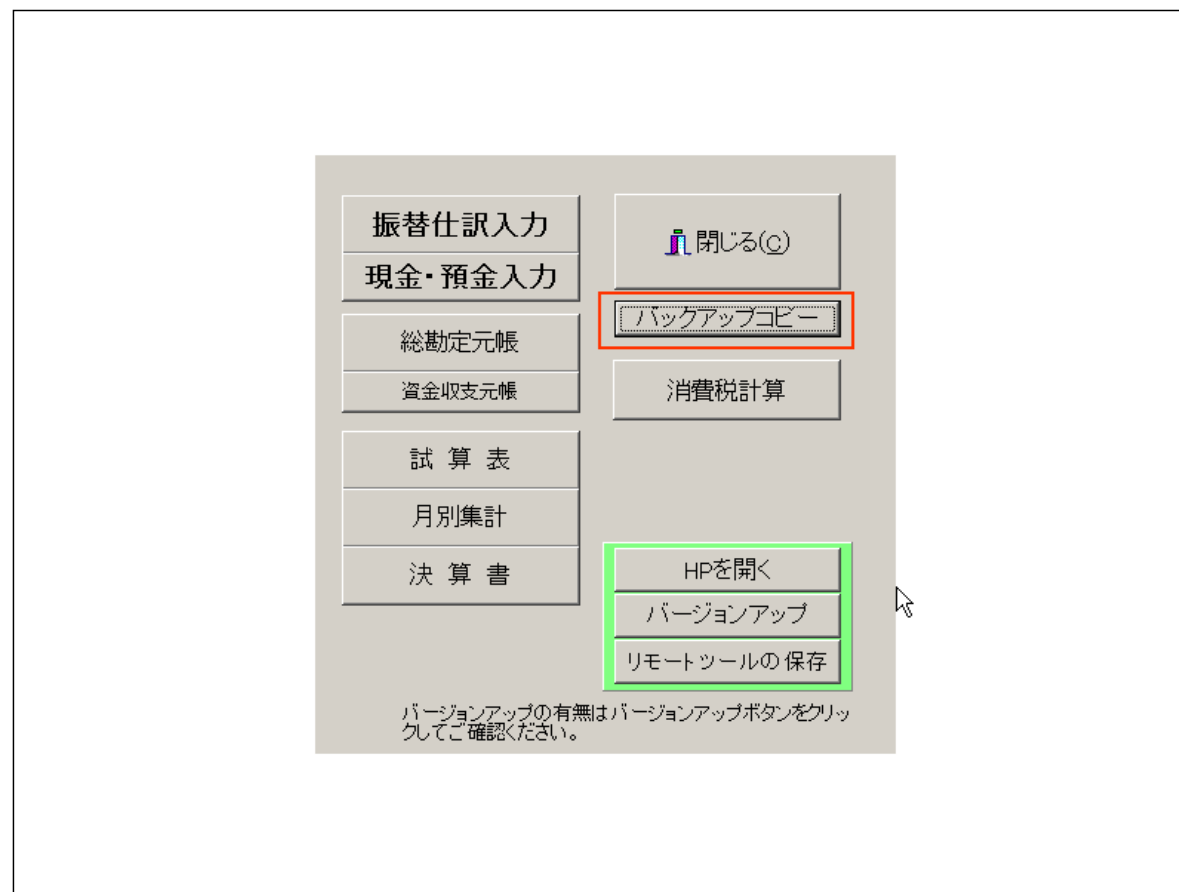
バックアップコピーと復元について

極めて重要

非常時に安心！

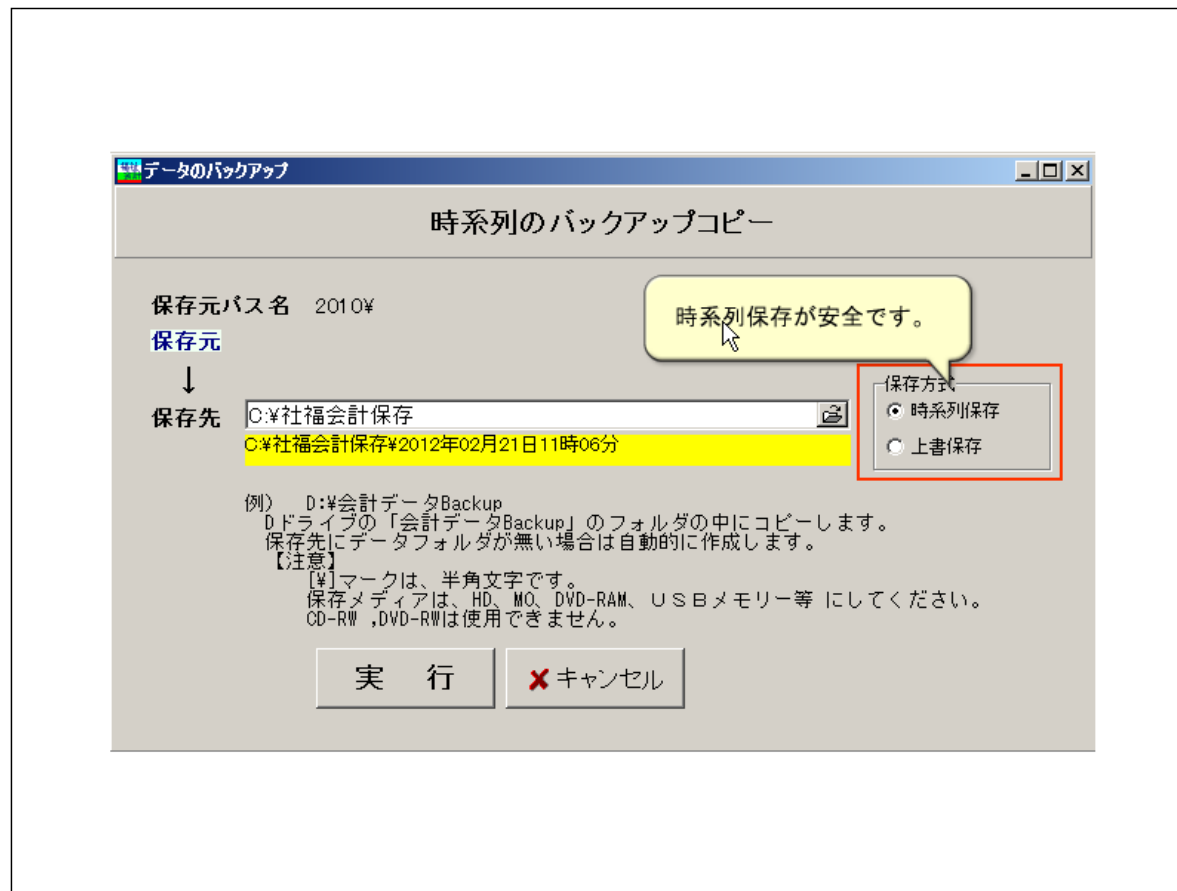
データのバックアップコピーは、きわめて重要です。
パソコンのトラブルや操作ミスなどで、バックアップコピーからの復元が必要になることが、必ずあることを、前提に運用してください。

スライド2



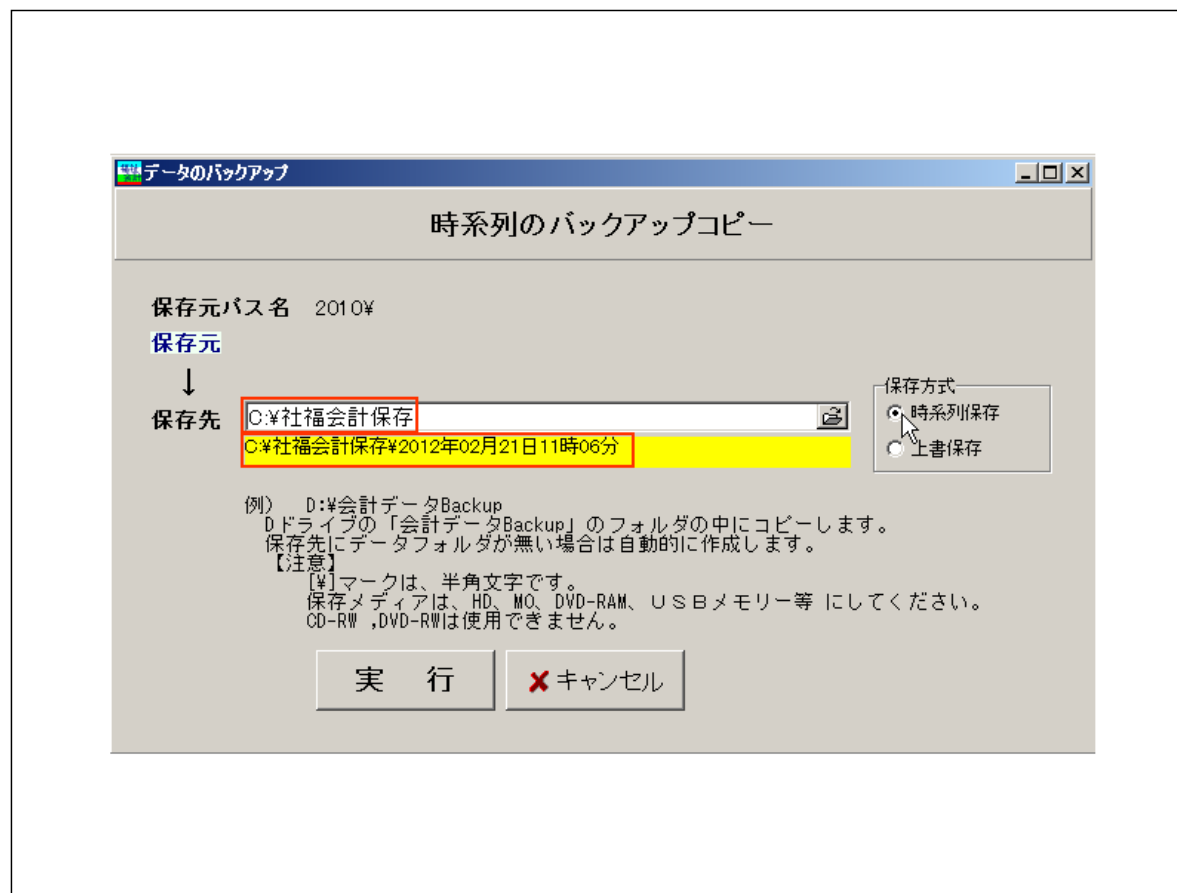
会計ソフトからのデータのバックアップは、
メインメニューの中にある、「バックアップコピー」のボタンを押してください。

スライド3



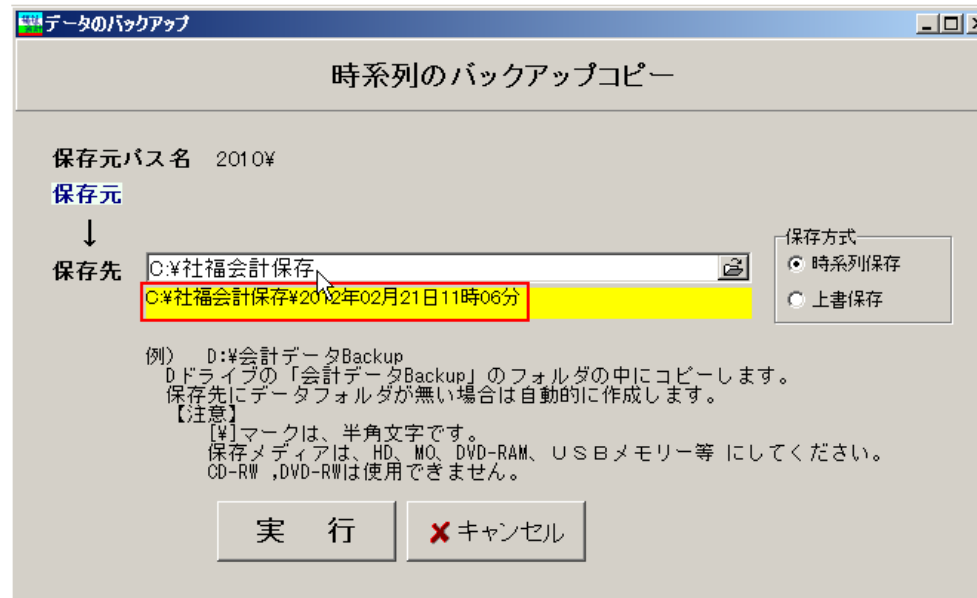
バックアップの方式は、時系列保存と上書き保存が選択できますが、通常は、「時系列保存」を選んでください。

スライド4



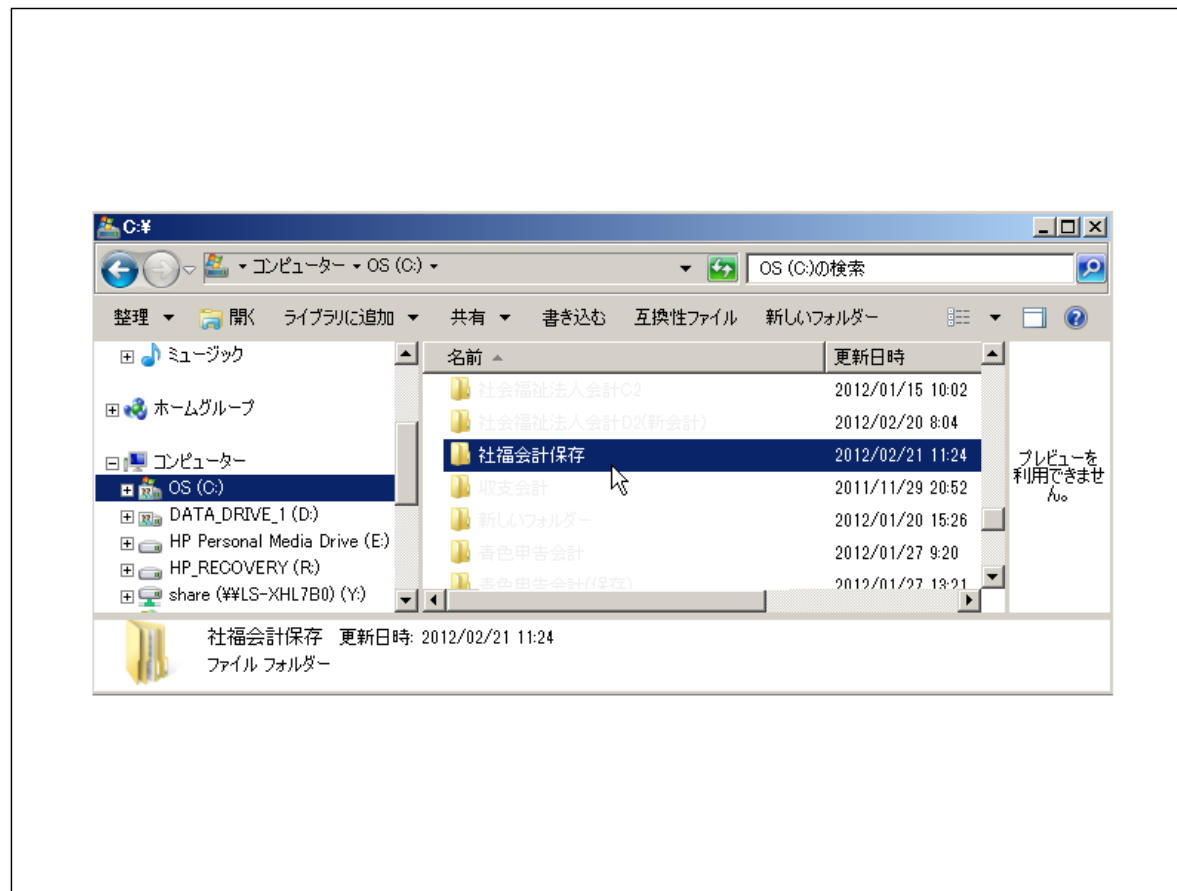
次に、保存先は、この例のように、保存先のドライブ名と、わかりやすい名称をいれてください。
注意点として、保存先を、USBメモリーなどにすると、ドライブ名が変わることがありますので、バックアップを取る前にドライブ名を確認してください。

スライド5



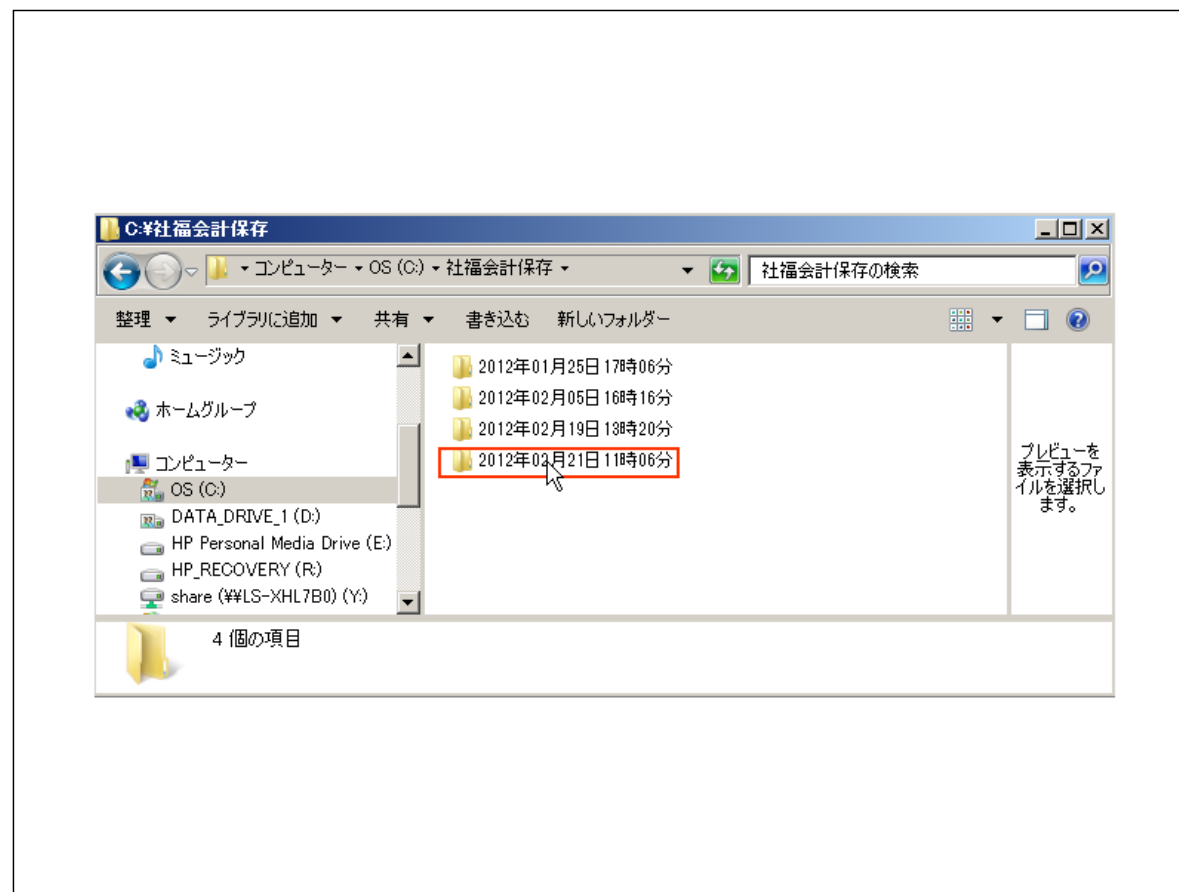
データの保存先は、この場所となります。

スライド6



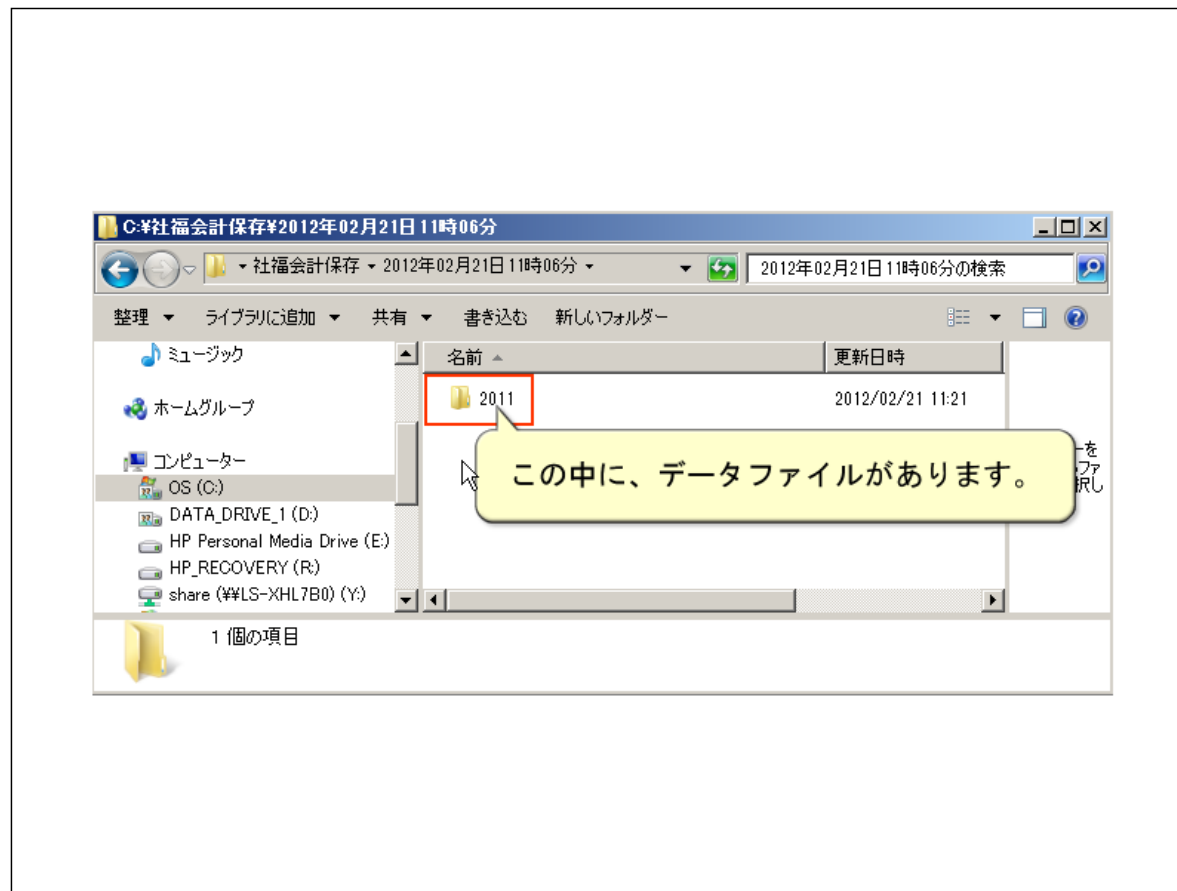
バックアップコピーしたフォルダの確認をしてみます。
Cドライブの中に、保存したデータフォルダがありますので、このフォルダを開いてください。

スライド7



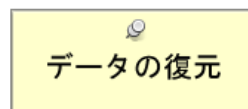
「年月日、時間、分」のフォルダがありますので、開いてみます。

スライド 8



このフォルダが、データフォルダです。
このフォルダの中には、会計ソフトのデータファイルがありますが、このファイルは、メモ帳や「エクセル」などでは、絶対に開かないでください。

バックアップからの復元

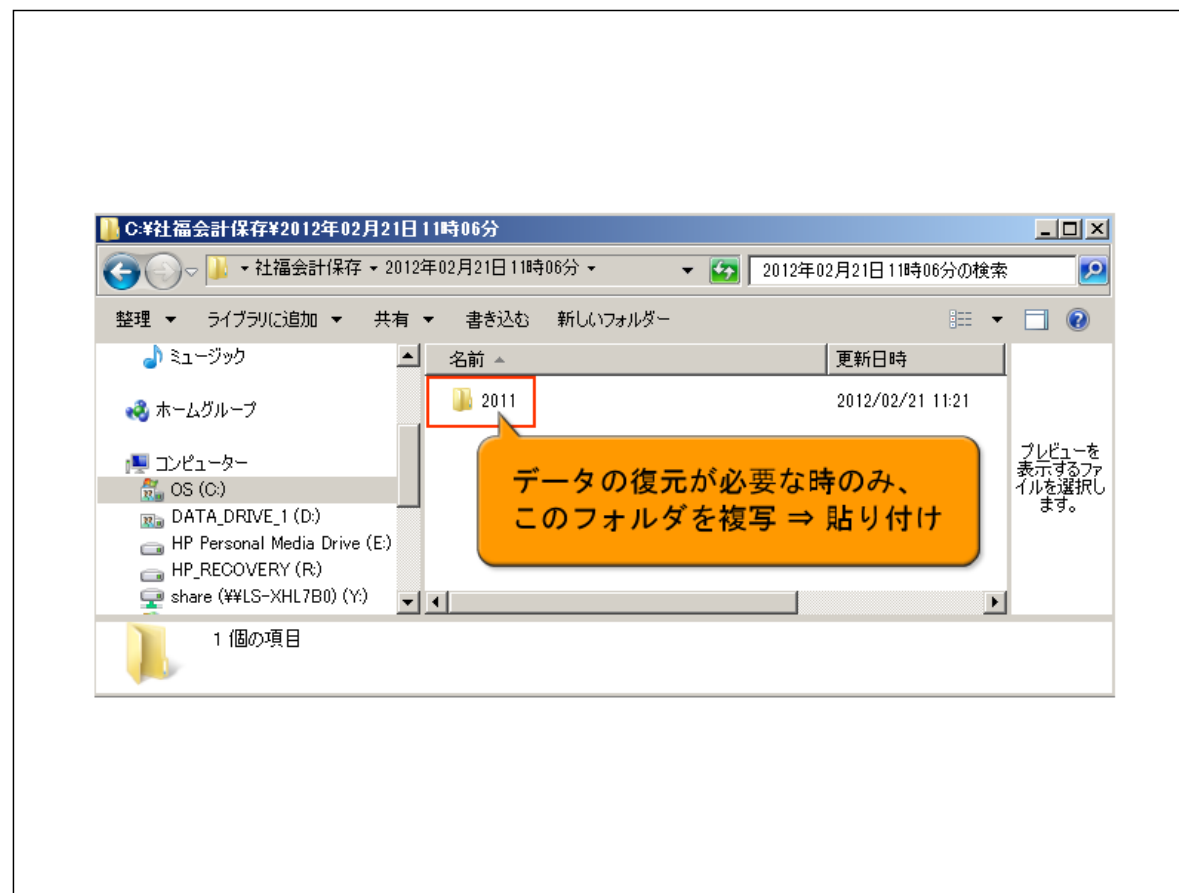


データの復元は、安易に出来ないように、復元ボタンは用意していません。

次に説明するwindows操作で、よく確認しながら行ってください。

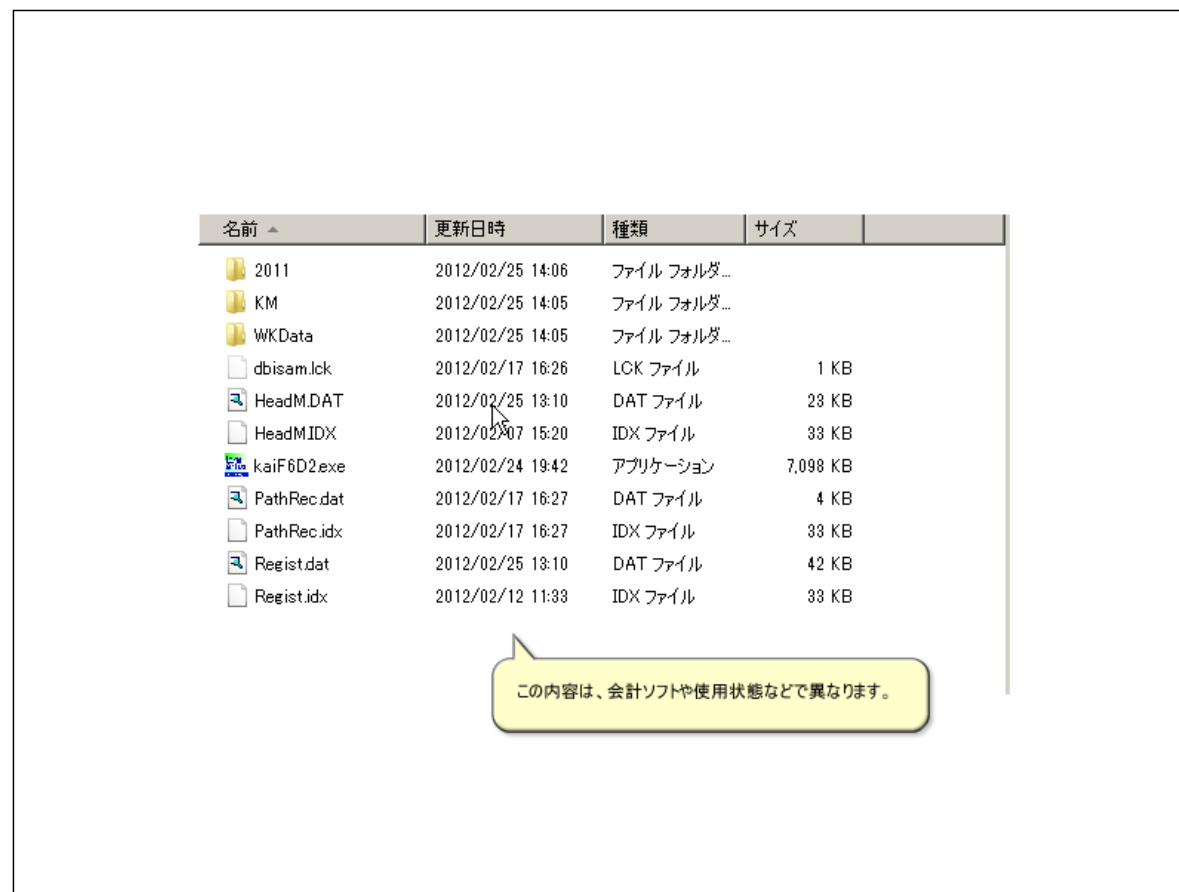
バックアップ先からのデータの復元について、説明します。
バックアップしたデータに、置き換わりますので、ソフトには、「データ復元」のボタンは、用意していません。
データが何らかの原因で、不調になった場合のみに行う、非常時の操作です。

スライド 10



時系列で保存したバックアップコピーの中で、復元したいフォルダを開くと、次のようなデータフォルダが出ます。このフォルダを、マウスの右ボタンを押して、コピーしてください。

スライド 11

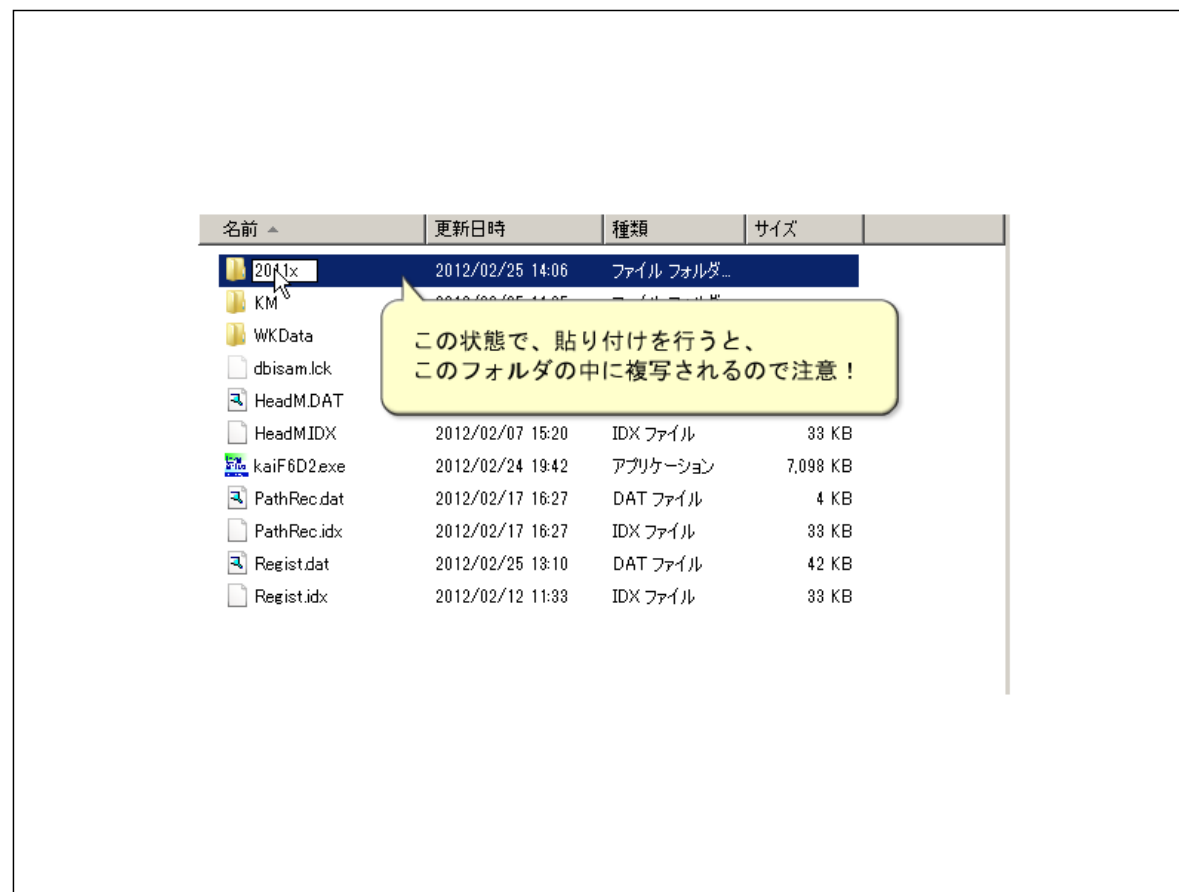


名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
2011	2012/02/25 14:06	ファイル フォルダ...	
KM	2012/02/25 14:05	ファイル フォルダ...	
WKData	2012/02/25 14:05	ファイル フォルダ...	
dbisam.lck	2012/02/17 16:26	LCK ファイル	1 KB
HeadM.DAT	2012/02/25 13:10	DAT ファイル	23 KB
HeadM.IDX	2012/02/07 15:20	IDX ファイル	33 KB
kaiF6D2.exe	2012/02/24 19:42	アプリケーション	7,098 KB
PathRec.dat	2012/02/17 16:27	DAT ファイル	4 KB
PathRec.idx	2012/02/17 16:27	IDX ファイル	33 KB
Regist.dat	2012/02/25 13:10	DAT ファイル	42 KB
Regist.idx	2012/02/12 11:33	IDX ファイル	33 KB

この内容は、会計ソフトや使用状態などで異なります。

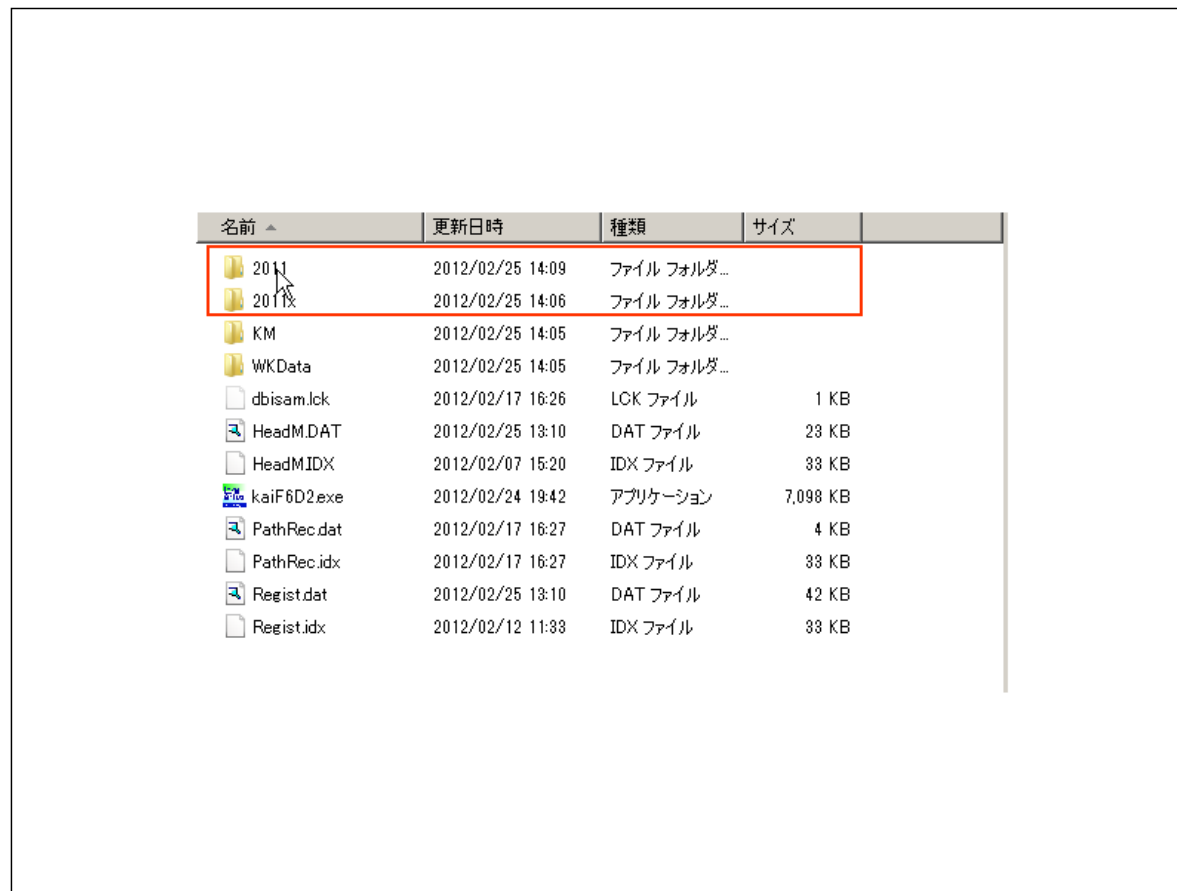
次に、会計ソフトのフォルダを開きます。
相対パス名で運用している場合は、このフォルダの中に、データフォルダがあります。

スライド 12



複写を実行する前に、この例のように、フォルダ名を変更しておいてください。

スライド 13



名前 ▲	更新日時	種類	サイズ
2011	2012/02/25 14:09	ファイル フォルダ...	
2011x	2012/02/25 14:06	ファイル フォルダ...	
KM	2012/02/25 14:05	ファイル フォルダ...	
WKData	2012/02/25 14:05	ファイル フォルダ...	
dbisam.lck	2012/02/17 16:26	LCK ファイル	1 KB
HeadM.DAT	2012/02/25 13:10	DAT ファイル	23 KB
HeadM.IDX	2012/02/07 15:20	IDX ファイル	33 KB
kaiF6D2.exe	2012/02/24 19:42	アプリケーション	7,098 KB
PathRec.dat	2012/02/17 16:27	DAT ファイル	4 KB
PathRec.idx	2012/02/17 16:27	IDX ファイル	33 KB
Regist.dat	2012/02/25 13:10	DAT ファイル	42 KB
Regist.idx	2012/02/12 11:33	IDX ファイル	33 KB

詳細表示の場合は、サイズの列の、右側にカーソルを移動してクリックすると、選択が解除されます。
このような状態で、先ほどコピーしたフォルダを、貼り付けてください。
会計ソフトを開いて、データの復元が、正常であれば、「2011x」のフォルダは、削除してください。

スライド 14

データのバックアップと復元について説明しました。

重要なこと

- ・データのバックアップは、時系列で保存してください。
- ・バックアップデータの復元は、非常時の時に行う操作です。

過年度のデータを見るときは、データの復元は必要ありません。

また、相対パス名で運用している場合は、会計ソフトのフォルダを、USBメモリーなどにコピーすると、パソコンが壊れた時などでも、ソフトとデータは、会計ソフトのフォルダを複製だけで、復元が出来ます。

データのバックアップと復元について説明しました。

- ・データのバックアップは、時系列で保存してください。
 - ・バックアップデータの復元は、非常時の時に行う操作です。
- 過年度のデータを見るときは、データの復元は必要ありません。

また、相対パス名で運用している場合は、会計ソフトのフォルダを、USBメモリーなどにコピーすると、パソコンが壊れた時などでも、会計ソフトのフォルダを複写だけで、復元が出来ます。この画面を閉じて、次の説明を見てください。